

新型コロナウイルス感染症への注意喚起 その8

次亜塩素酸水の空間噴霧はやめてください！

「次亜塩素酸水」の空間噴霧について（ファクトシート）

令和2年5月29日現在

新型コロナウイルスに対する代替消毒方法の有効性評価に関する検討委員会事務局*

注：現時点において、「次亜塩素酸水」の新型コロナウイルスへの有効性は確認されていない

(1) WHOの見解

「COVID-19 について、噴霧や燻蒸による環境表面への消毒剤の日常的な使用は推奨されない」とする。さらに、「消毒剤を人体に噴霧することは、いかなる状況であっても推奨されない。これは、肉体的にも精神的にも有害である可能性があり、感染者の飛沫や接触によるウイルス感染力を低下させることにはならない」としている。

独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)HP より

今回は新型コロナウイルスの消毒についてのお話です。

手指消毒には石鹼での手洗いかアルコール消毒、ドアノブや手すりやテーブル等の消毒(環境消毒)にはアルコールか次亜塩素酸ナトリウムが推奨されています。うすめた中性洗剤も有効です。石鹼や中性洗剤に含まれる界面活性剤は、ウイルスの膜(エンベロープ)をぼろぼろにしてウイルスを不活性化します。アルコールは濃度70~85%程度(手に入らなければ60%以上でも可)のエタノールが推奨されています。次亜塩素酸ナトリウムはハイターやブリーチなどの塩素系漂白剤で、0.05%に薄めて使用します。

さて、最近“空間除菌”をうたって次亜塩素酸水を噴霧する製品が売り出されており、実際使用している自治体や店舗もちらほらみられています。これについてはこれまでも専門家の先生方から、効果がないばかりか危険だと警鐘がならされておりました。5月29日に経産省所管の独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)から、「『次亜塩素酸水』の空間噴霧について(ファクトシート)」が出され、同様の見解が示されました。また6月4日に文科省からも児童生徒等がいる空間で使用しないよう通達ができました。すなわち、**次亜塩素酸水の噴霧は新型コロナウイルスに有効でないばかりか、人体に有害である可能性があり推奨されません。**次亜塩素酸水と次亜塩素酸ナトリウムは違うものです。次亜塩素酸水は安全だが消毒効果があると認識をされている方もいらっしゃるようですがそれは誤解です。もちろん次亜塩素酸ナトリウムを加湿器などに入れて空間に噴霧するのも危険なのでやめてください！

新型コロナウイルスへの感染を恐れ、心配する気持ちはよくわかります。我々医療従事者だって同じ気持ちです。何か人体に安全なもので新型コロナウイルスを消すことができたらと願いますよね。しかし残念ながらそのような消毒剤はありません。それがあんなら医療機関で使っています。**新型コロナウイルス感染症の基幹病院を含め、次亜塩素酸水を含め消毒剤を空間に噴霧している医療機関はありません。最も有効な方法はしっかり換気をして3密を避けることです。**

不安解消のために効果のないものを購入するのはお金の無駄であるばかりか、ご自身・ご家族・友人・店舗を訪れた市民に健康被害をもたらす恐れがあります。NITEの発表をうけ、これまで次亜塩素酸水での環境消毒や空間噴霧を行っていた自治体や店舗も次々と使用を中止しています。もしまだ使用しているところがありましたらすみやかに中止し、推奨された方法での消毒を徹底していただくようお願い致します。

コロナ禍に乗じてあやしいデマが数多く出回っています。それらに惑わされないよう、時にはテレビや週刊誌をみないということも必要かもしれません。小金井市医師会は正確な情報を皆さまにお伝えして参ります。一緒に協力して自分自身や大切な方を守ってまいりましょう！

以上